

1 全国学力・学習状況調査の結果

今年も全国学力・学習状況調査の結果の発表があった。勤務する学校の結果は、どうだっただろうか。ほぼよい結果だと思う。結果が思わしくなかった学校は、指導者がすべきことを学校全体で共有することが重要である。

(1)受け止め方

正答率の低いのは、子供に原因があるのではなく、指導者側にあることを認識する。教師主導で教え込んだ知識・技能は、子供が「すぐに忘れる」ことにつながる。子供が意図を持ち、自ら考えたことを繰り返し、まとめ、振り返ることで知識や技能は身に付く。

(2)学力を向上させた県の3要因 (H22年度文部科学省委託研究報告書 (早稲田、田中先生))

- ①校長の熱意ある経営方針にそって取り組む教師集団
- ②授業中の子供の対話力や発表力の高さ (教科横断的指導・授業スタンダード)
- ③「書く活動」に重点を置く教科指導

2 授業を見る3視点 (指導主事研修から)

授業スタンダードから考えると40視点ある。だが、教科毎の特性から考えると、大よそ3分野8点に集約できる。①学習意欲を高めるための課題設定となっているか ②子供の対話的な学び合いか ③学んだことを実感する振り返り活動か、この3点から授業を見て授業の評価をするとよい。

①学習意欲を高めるための課題設定か

①疑問を持たせる資料提示か

④I 問題(資料)の提示 ・資料・学習問題・振り返り・実物・体験活動

②疑問を学習課題にしているか

⑤II 問いをもつ・問題等の気付き

「気がついたこと・考えられること・調べてみたいこと」

③解決の見通しを持たせているか

⑥III 問いの共有

・問い合わせの集約・ペア班全体で確認・大よその見通し・解決方法

⑭自力解決困難

・グーパーの挙手 ・1対1 ・写す ・聞く ・ノート展覧会

②子供の対話的な学び合いか

④教え合う

⑯ペア学習 ・褒めてアドバイス・情報交換タイム・メモをする習慣

⑯班学習 ・司会者方式・ワークショップ方式・ノート回し・ノート展覧会

⑤出し合う

*まずは、様々な考えを出し合う

⑯学び合い「単純意見交換」・意見や調べた事実の単純な意見交換・個人や班の代表が発表

⑰教科進行係り ・司会進行・全体会での司会・まとめのまとめ役・グッズ掲示

⑥くらべ合う

*比較、条件、簡単 (は・か・せ)、発展、一般化、根拠、価値、賛同、共通点

⑯学び合い「考察」 ・学習課題に迫る「考察」・多様な考え方を知る・比較や分類

⑦まとめる

*自己決定

⑯VIまとめ (価値の共有)・教師は書かない・赤囲み・自分の言葉で・リード文

③学んだことを実感する振り返り活動か、

⑧振り返り

⑯VII振り返り

◎3視点・分ったこと・友達から学んだこと・新たにやってみたいこと・学んだキーワード